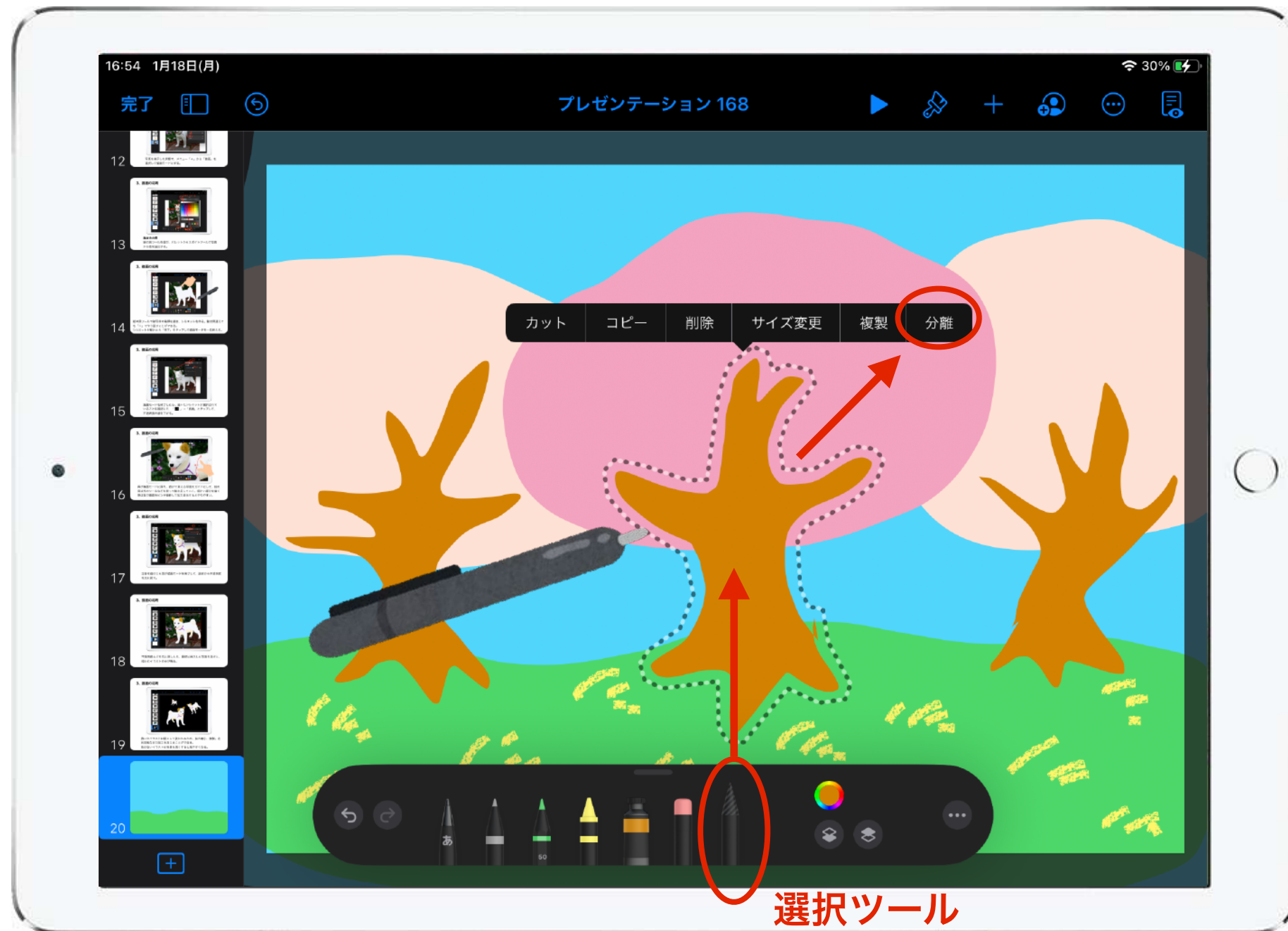


# Keynoteによるオリジナル教材作成③

ー描いたイラストにアニメーションをつけようー

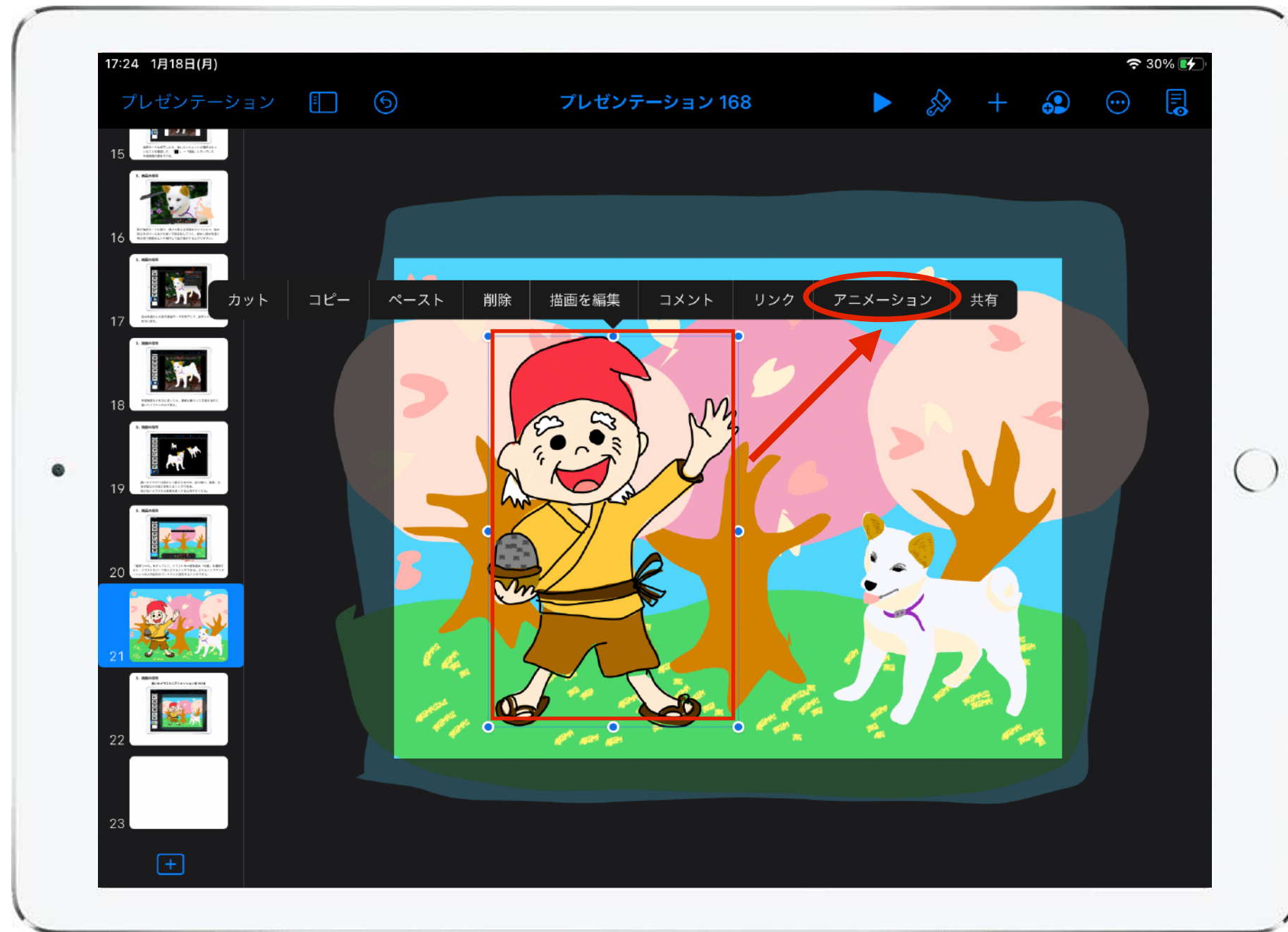


# 1、描画イラストの編集



「選択ツール」をタップして、イラストの一部を囲み「分離」を選択すると、イラストをパーツ別に分けることができる。分けることでアニメーションなどがパーツごとに設定することができるようになる。

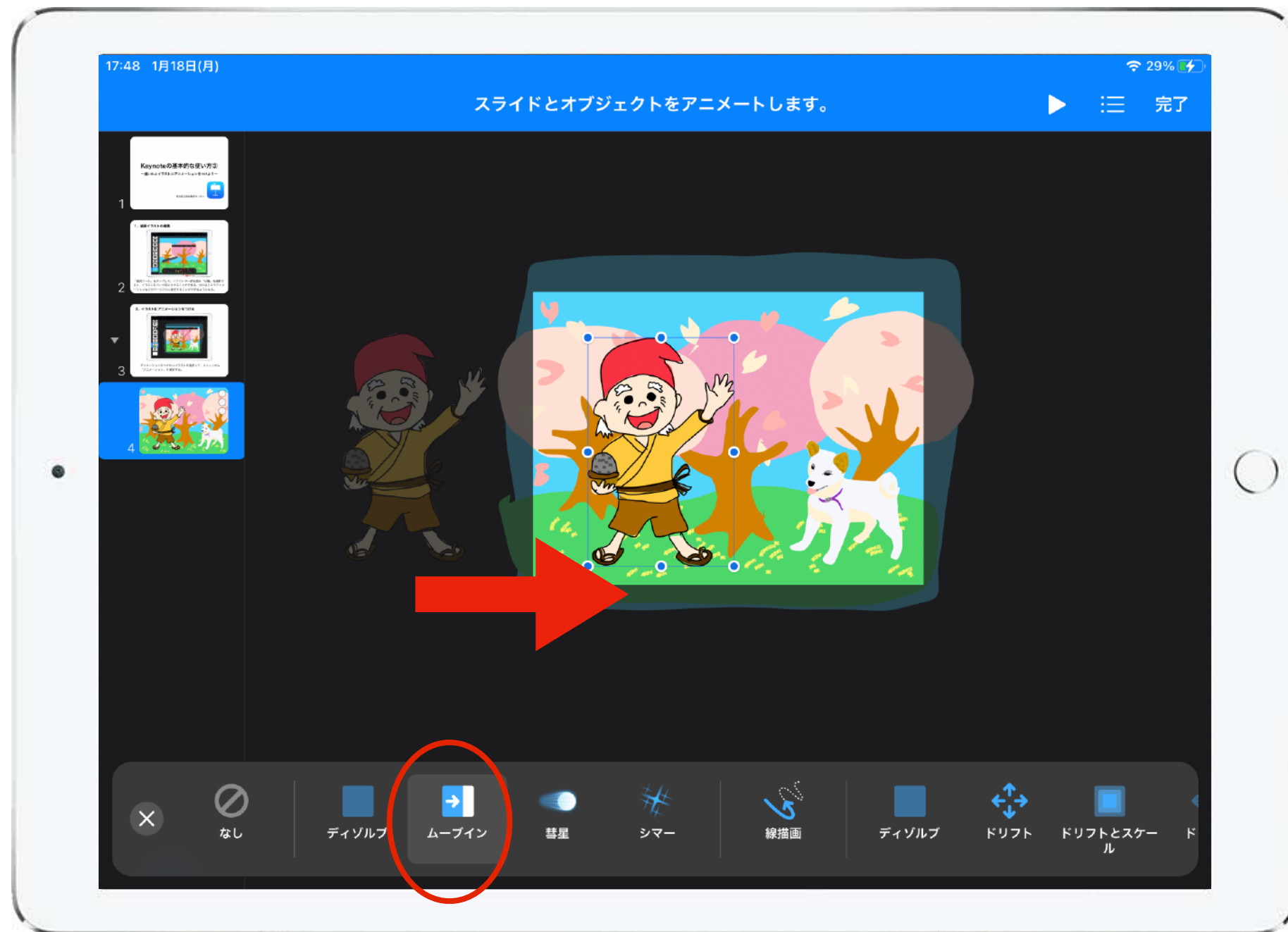
## 2、イラストにアニメーションをつける



アニメーションをつけたいイラストを選択して、メニューから「アニメーション」を選択する。

※アニメーションのつけかたについてはKeynoteの基本的な使い方①を参照してください。

## 2、イラストにアニメーションをつける



アニメーションの「ビルドイン」から「ムーブイン」を選択すると、画面の外からキャラクターが現れるようなアニメーションをつけることができる。



## 2、イラストにアニメーションをつける



クレヨンツールで写真のような線を描き、アニメーションの「線描画」を選択すると、線を描いた際の軌跡がアニメーションになる。この場合、キャラクターが灰を撒いたような動きになる。

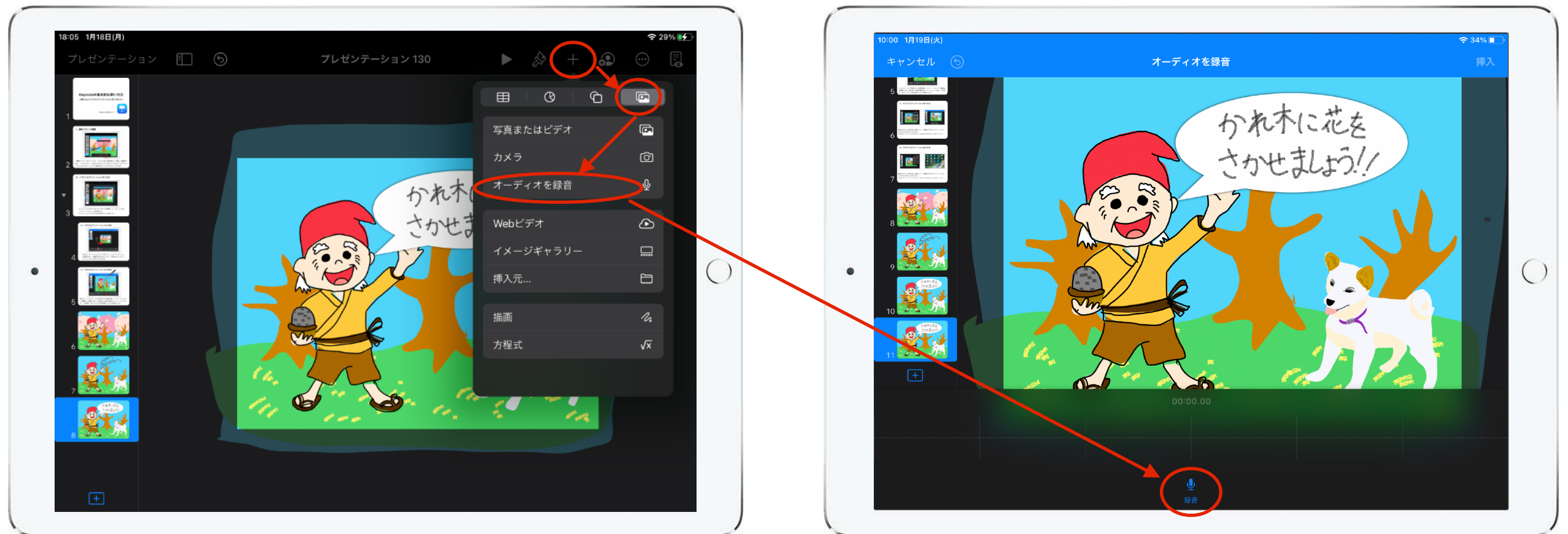
## 2、イラストにアニメーションをつける


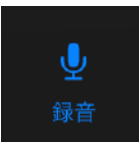


図形からかっこ吹き出しを挿入して、言葉をつけたりアニメーションをつけたりすることもできる。

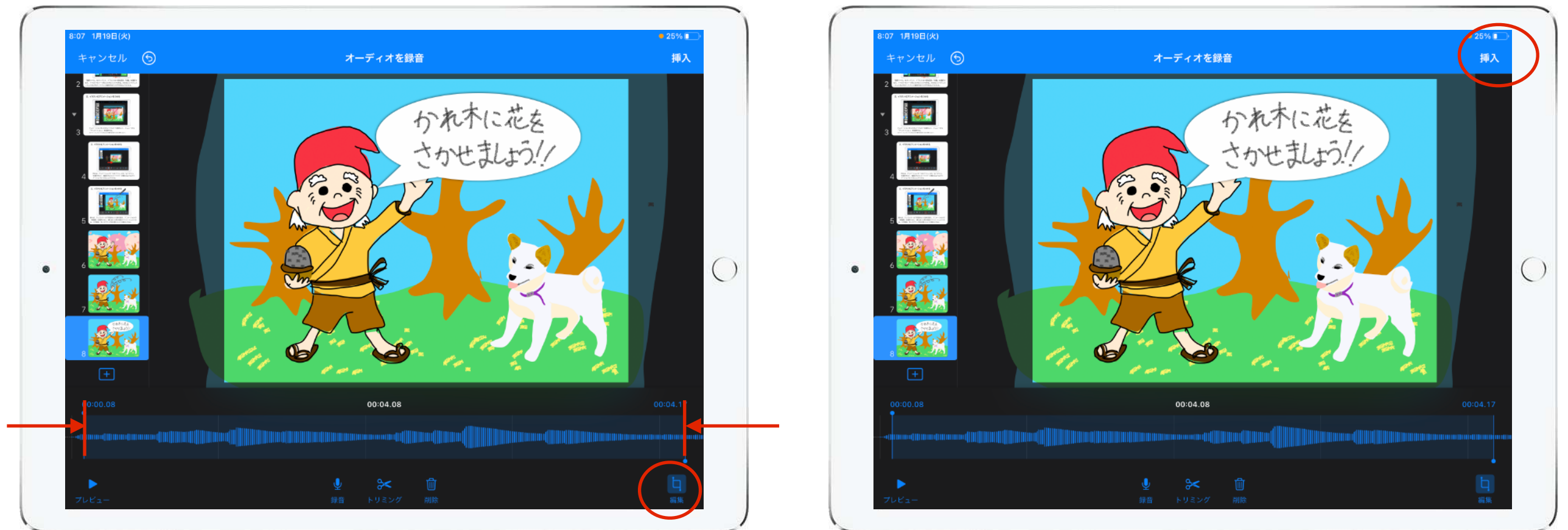
※図形の挿入やアニメーションの付け方についてはKeynoteの基本的な使い方①を参照してください。

### 3、イラストにオーディオを入れる



メニューの「+」→「」→「オーディオの録音」を選択すると録音モードになるので、「」をタップしてiPadに向かって喋ることで音声録音できる。

### 3、イラストにオーディオを入れる

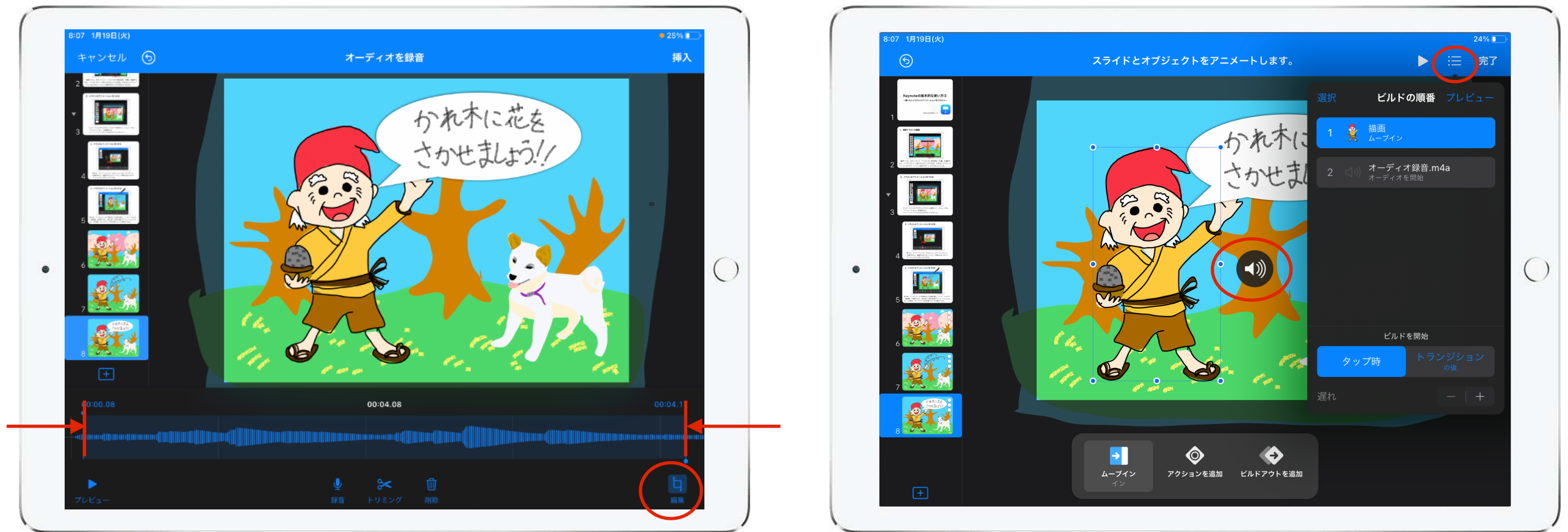




録音した音声は、前後の余分な部分をトリミングして調整することができる。

調整が終わったら、画面右上の「挿入」をタップして音声をイラストに入れる。



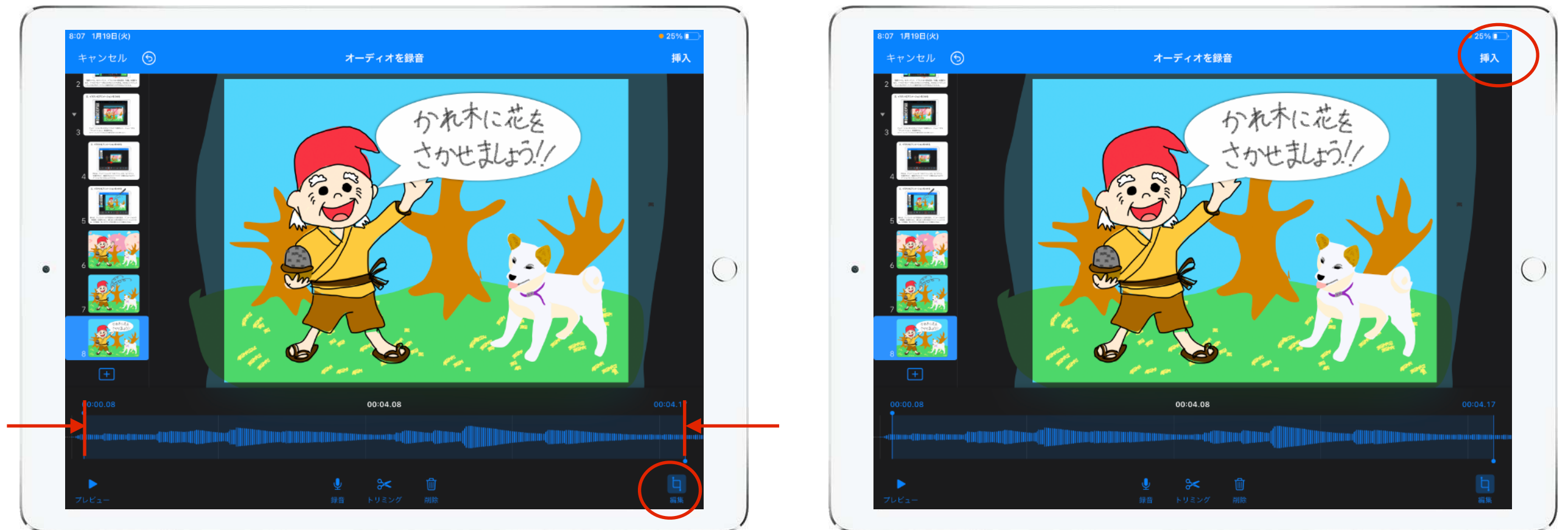
### 3、イラストにオーディオを入れる



録音された音声は「」と表示される。このマークをタップして「アニメーション」を選択し、右上のメニューから「」をタップすると音声を再生するタイミングを設定することができる。

例えば、キャラクターが登場して、吹き出しが出ると同時に音声を再生することで、キャラクターが喋っているようにすることができる。

### 3、イラストにオーディオを入れる



録音した音声は、前後の余分な部分をトリミングして調整することができる。

調整が終わったら、画面右上の「挿入」をタップして音声をイラストに入れる。





今回は紹介していませんが、アプリ「GarageBand」を使って作曲した音をKeynoteにいれることもできます。

描画で描いたイラストにアニメーションをつけるたりオーディオを入れたりして、動く絵本などのオリジナル教材作りにチャレンジしてみましょう。